

## 通信教育部芸術学部 芸術教養学科 教員募集（博物館学実践コース）（仮）

募集学科	通信教育部芸術学部 芸術教養学科 ※博物館学実践コース（仮）は2027年4月開設予定。新コース開設にあたり、在籍している教員と共同しながら、新しい学習環境の構築に従事していただきます。
募集の経緯	2027年4月博物館学実践コースの開設のため
専門分野	博物館学、博物館経営論、博物館情報メディア論、デジタルアーカイブ学
職位及び人員	教授、准教授または講師
採用予定	2026年4月1日
任用期間	1. 2026年4月1日～2027年3月31日（期間の定めあり）、試用期間あり（3ヶ月） 3. 契約更新の有無 [更新する場合があります] 4. 契約の更新は次により判断する （1.契約期間満了時の業務量、2.勤務成績、態度、3.能力、4.学園の経営状況 5.従事している業務の進捗状況、6.その他） 5. 更新の上限の有無：有 通算契約期間：2031年3月31日まで
勤務地	（雇入れ直後及び更新時）瓜生山キャンパス（京都市左京区） （変更の範囲）学園の定める場所
業務内容	（雇入れ直後及び更新時） 博物館学実践コース（仮）の開設準備（映像教材等の教育開発を含む学習環境の整備等） コース開設後は専門教育科目の授業担当、学生募集・入試業務含む学科運営、学生指導、本学の教員として、専門分野を生かした授業担当、運営業務、ほか学部長・研究科長が指定する業務 （変更の範囲）学園の定める業務
担当授業	博物館学特講、博物館実習、演習、卒業研究等
応募資格	1) 修士以上の学位を有すること、もしくはそれと同等の業績があること 2) 大学等の教育機関での教育実績があること 3) 本学の理念『京都文藝復興』に賛同していただけること 4) 博物館学や博物館経営論、博物館情報メディア論、デジタルアーカイブ学に関する深い専門的知識を持ち、ミュゼオロジーの実践者を養成することができること 5) 学芸員資格を持ち、学生の資格取得のための指導ができること（博物館あるいは美術館における実務経験を有することが望ましい） 6) 学部・学科の教育方針を理解し、学科・コース運営、学生の進路・就職指導に責任を持って携わること 7) 採用後は、通勤圏内に居住し、本学勤務に専念できること（勤務地：京都）
求める人材像、スキル等	① 社会人としてふさわしい業務遂行能力やコミュニケーション能力を有すること ② 多世代の学生、増加傾向にある若年層学生と分け隔てなく対話ができ、通信教育で博物館学を学ぶことの意義、楽しさ、厳しさについて自分の言葉で伝えられること

	<p>③ 学生指導に意欲的かつ大学運営（各種委員会等）や地域連携・国際交流業務に積極的に取り組むことができること</p> <p>④ 完全遠隔教育を理解し、実践する力を有すること</p>
参考 URL	<p>建学理念 <a href="https://www.kyoto-art.ac.jp/info/philosophy/">https://www.kyoto-art.ac.jp/info/philosophy/</a>  ご応募の前に、『京都文藝復興』、『藝術立国』、『まだ見ぬわかものたちに』、『通信による芸術教育の開学にあたって』を必ずご一読ください。</p> <p>学科紹介 <a href="https://www.kyoto-art.ac.jp/t/course/">https://www.kyoto-art.ac.jp/t/course/</a>  シラバス閲覧システム  【airU】<a href="https://w.guide.air-u.kyoto-art.ac.jp/syllabus/">https://w.guide.air-u.kyoto-art.ac.jp/syllabus/</a>  ※学科・科目名で検索をしますと、授業情報をご覧いただけます。</p>
待遇	<p>給与 職務経験を考慮し、面接を経て職位決定のうえ、本学規定により決定</p> <p>諸手当 住宅手当 月額 15,000 円（世帯主のみ）</p> <p>家族手当 (1)満 18 歳未満の子/月額 10,000 円（被扶養者のみ）  (2)障害等級 1 級、要介護 3 以上/月額 5,000 円（被扶養者のみ）</p> <p>通勤手当 6ヶ月定期代 年 2 回支給（限度額/月額 35,000 円）</p> <p>超勤手当 有（役職に応じて）</p> <p>個人研究手当 年額 300,000 円</p> <p>賞与 年 2 回（6 月・12 月予定）</p> <p>社会保険等 私学共済（健保・年金）加入：有</p> <p>雇用保険：有</p> <p>労災保険：有</p> <p>勤務場所 個人研究室ではなく、フリーアドレスの学科教員室となります</p> <p>勤務時間 9 時 00 分～17 時 30 分(実働 7 時間 30 分)  *時間割や業務により時差勤務の場合もあります</p> <p>休日・休暇 完全週休 2 日制（土・日曜日）、国民の祝日  *学年暦により、土・日曜日、祝日出勤（振替休日取得）の場合もあります</p> <p>年末年始休暇 2026 年度/2026 年 12 月 29 日～2027 年 1 月 5 日（予定）</p> <p>有給休暇 有（所定労働日数に応じた日数）  *うち 5 日間は、指定期間に有給を計画的に付与します</p> <p>育児休業および介護休業制度有、慶弔休暇および生理休暇有</p> <p>退職金 なし</p> <p>その他 確定拠出年金制度、健康診断の実施、私学共済の契約施設の利用（直営宿泊施設の利用や、百貨店・専門店などの利用割引、宿泊施設・厚生施設・スポーツ施設の利用補助等）、学費減免制度（本学の教職員またはその扶養する子弟・配偶者が、本学に在籍している場合、減免あり）</p> <p>受動喫煙対策あり：敷地内禁煙（屋外に喫煙場所設置）</p>

## 応募方法

提出書類 * 4 種	1) 履歴書 ※ <b>本学指定書式あり</b> ※ 写真貼付、連絡用のメールアドレス・電話番号を明記ください。
	2) 業績書（過去 5 年間の研究・業務実績、活動歴） ※ <b>本学指定書式あり</b> ※ 専門分野の業績は、5 年に限らず特筆すべきものをお書きください。
	3) 「社会人に対して通信教育で博物館学を学ぶ意義、教える意義、そしてその可能性」について 1,000～1,200 字程度のレポート（A 4 判、書式自由）
	4) 下記の内、いずれか 1 点。 ・作品ポートフォリオ ※業績書の補足資料として、これまでのお仕事について画像などを用いて視覚的に捉えられるようにひとつの PDF にまとめてください。 ・研究論文の抜刷またはコピー（5 件以内）
	※ 1)、2) の本学指定書式は、JREC-IN 本学公募ページ（応募方法欄）からダウンロードいただけます。

